

令和4年度まちかどミーティング会議録

開催日 令和4年10月20日（木）

地区 拓勇地区

会場 沼ノ端交流センター

<意見交換>

◆市民 私は拓勇西町町内会の■■■■と申します。

質問なんですけれども、拓勇保安林のアオサギについてということで質問させていただきます。

前段で、私はアオサギ、保安林に関してだとか、アオサギについての保護についてはもう私、十分承知しておりますので、それを踏まえてちょっと述べさせていただきたいと思います。

以前は保安林に、私の家の前にある拓勇保安林なんですけど、ここ二、三年、特に5月から8月ぐらいにアオサギが営巣をして、ふんだらけだとか、それから夜になると騒音だとか、それからアオサギの場合は魚をやっぱり大量に食べるものですから、魚くさい臭いをその辺にまき散らしておりまして、苫小牧市の対策課としてはよくやっているとは思いますが、今後の取組についてご回答を願いたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○司会 拓勇保安林のアオサギの対策について今後の考え方、市のほうから回答をお願いします。

◎環境生活課副主幹 市の環境生活課の高坂です。ご質問ありがとうございます。

拓勇樹林のアオサギについての動静なんですけれども、我々としても地域の住民の方から、やはりアオサギが営巣して繁殖する期間、非常にふんの問題ですとか、そういったお問合せたくさんいただいております。

我々もなかなか巣にいる間は、やはり鳥獣保護の問題から、追い払うということはなかなかできない。今の時期になりますと、巣からもう飛び立って、ヒナはもういない状況になりますので、我々としてはまず、どれぐらいの巣があるかというものを、ドローンだとかを活用して、まずは上空からの巣の数の調査ですとか、そういったものを行いながら、今後は巣のほうの移設だとかも何とかできないかということ踏まえて、アオサギが別の場所で巣を営巣、コロニーをつくることできないかということ、市の対策として実は検討を進めておりますので、ちょっと複数年にわたる対策になるかと思っておりますけれども、もう少し対策のほうを待っていただければと思います。

◆市民 ありがとうございます。

○司会 そのほか、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。どなたかいらっしゃいませんか。じゃあ、後ろの方、お願いします。

◆市民 ウトナイ町内会の■■■■と申します。よろしくをお願いします。

津波に関してのことなんですけど、避難場所が中学校、小学校のみとなると。ほか特老も入っているのかもしれないんですけど、小学校、中学校ということで、例えば深夜帯にそのような事態

が起こったときに、誰がどういう経路で小学校を開けて、避難されてくる町民の方々の受入れをするのかとか、何かその辺の、例えばシミュレーションというか、想定をした上でこの避難場所を指定しているのかと、そんなところをちょっと質問したいんですけども。

○司会 避難場所としている小中学校がやっていない、深夜等における対応ということで回答をお願いします。

◎危機管理室長 危機管理室の前田です。津波の関係のお話ということで、避難所の学校の夜間のお話がありますけども、これは今回の津波の想定の前からなんですけども、苫小牧市はもともといろいろな災害の避難場所を学校としています。今ご指摘のとおり、それはもう夜間、休日の可能性もありますので、苫小牧市では各学校ごとに3名、その地域の近くに住んでいる職員を地域指定職員ということで指定をしております、その3名のうち2名に学校の鍵を持たせています。これは津波に限らず地震なんかもそうですけども、そういうときには、その者がまずは学校の体育館なりの鍵を開けていくというような仕組みをしておりますので、今回の津波もこの想定につきましても、そのことを前提に、まずは学校に避難をしていただきたいということで今回はこの避難計画をつくっている、そういった状況であります。以上です。

◆市民 ありがとうございます。細かな設定というか、そういったことになってしまうので、ちょっと細か過ぎるかなと思うんですけども、職員さん自体も休日等々でお出かけになるときとかもありますし、その3名のうちの誰かが必ず家、自宅というか、その場所にいなければならないみたいな、多分そういう設定になってしまうと思いますので、そういった負担ですとか、そういったものが可能なかどうかというのは、多分想定はされていると思うんですけども、その辺を含めて想定されているのか、ちょっと確認したいんですけども。

○司会 回答をお願いします。

◎危機管理室長 まさしく今のお話がこれからの検討のテーマになると私どもも思っております。これは今、教育委員会の協力の下で学校を開放するというにしておりますけども、これはまだ現段階でどんな検討ができるかというところはあるんですけども、例えば遠隔操作で自動解除できないかなですとか、これは苫小牧市だけじゃなくて全国にいろいろな取組があると思っておりますので、そういった先ほど言ったような計画、マニュアルの見直しという作業の中には、そういった、どうやって学校を夜間、休日に開けていくのかといったことについても、これはちょっとここも少しお時間はかかる問題かもしれませんが、全国の状況なんかも情報収集をしながら、そういう職員に過度に負担がかからない体制ができないか、そのことについても検討していきたいと、そのように考えています。

○司会 よろしいでしょうか。

◆市民 はい。

○司会 それでは、前の方ですね。先に赤い方です。

◆市民 北栄町内会の■■■■といます。ここ最近、ニュースで札幌の市街地で熊が出たりとか、そういう害獣のそういったニュースが流れるんですけども、ウトナイ地区でも鹿の結構、群れがトラッ

クステーション辺りにいたりして、住民の方が結構、何ていうんでしょう、おっかながっている
というか、そういった場合に市としてはどういったような対応を取るのか、ちょっとお聞きした
いんですが。

○司会 鹿の対応ということで、回答をお願いいたします。

○環境生活課副主幹 鹿の対応で、環境生活の高坂ですけれども、鹿の対応につきましては、近年、ち
よっと全道的にやはり出没増えています。交通事故も結構多発しておりまして、これまでも苦小
牧で捕獲事業というのを、北海道が主で行っているものに合わせて、農業被害ですとかそういった
もの、郊外で捕獲事業というのを行ってきております。ただ、やはり近年の鹿の生息数が増え
ているということもありますので、市としても対策として独自に市街地周辺での捕獲事業という
ものも新たに今後、行う予定でいます。

また、交通事故対策としましては、非常に交通事故が多い沼ノ端と勇払の路線ですとか、そう
いったところで路肩の草刈りを、ちょっと幅を広げて、人側のほうで鹿を早期に発見できるよう
な対策ですとか、様々な対策を多面的に行いながら鹿の対策というのをちょっと講じているとこ
ろでありますので、あわせて、そういった様々な対策の中で鹿の、今後また対策というのを引き
続き継続して行っていきたいなというふうに考えてございます。

○司会 よろしいでしょうか。それでは、後ろの方。

◆市民 ウトナイ町内会の■■■■です。苦小牧、近くには樽前山ありますよね。樽前山がもう100年以上昔、
100年以上たっているの、樽前山が噴火になった場合にはどこへどう避難したらいいのかなとい
うのが。何かね、どこ行っても、恵庭のほう行っても樽前山すぐそこにあるし、どこへ避難した
らいいんだろうというのがちょっと疑問に思ってます。

○司会 樽前山噴火の際の避難について、回答をお願いします。

◎危機管理室長 危機管理室、前田のほうからお答えをさせていただきます。今日は津波のお話を差し
上げましたけど、やっぱり苦小牧の防災、もともとは樽前山のほうから始まったという歴史があ
ります。樽前山については、火口の周辺がちょっと温度が高いということで、今、学者さんのお
話によりますと、小規模ですとか中規模レベルの噴火というのはいつあってもおかしくないと言
われています。

皆様のお手元にお配りした防災ハンドブックというものがありますけども、あそこでは大規模
噴火、中規模噴火、小規模噴火という3つの噴火をお示ししているのですが、学者さんの話では、
大規模噴火の可能性は今はないかな。小規模、中規模の可能性があるとされています。そうし
ますと、小規模噴火は山頂周辺ですね、噴石が飛ぶ範囲は火口周辺数キロとされています。中
規模噴火になりますと、今度は、昔、雲仙普賢岳であったような火砕流というものが発生が心配
されています。ただ、その範囲については、今日は沼ノ端方面のお話になりますので、火砕流に
ついてはアルテンのところの覚生川、あの川を伝って、あの周辺のアルテンの手前ぐらまで来
るんじゃないかというふうに言われています。そうすると、あの周辺の方々は避難は必要になる。

では、この地域の場合に樽前山の噴火で何を注意してほしいかということ、火山灰なんですね。

大体この苫小牧市では西風吹きますので、そういった小規模、中規模噴火が起きると、火山灰がこの辺まで降ってくるという可能性はあります。この場合には避難は必要ありません。その代わり、火山灰というのはちっちゃいガラスみたいなものですので、目に入ると目を傷めますとかということがありますので、火山灰をうまく防ぎながら日々の生活をするということが必要となってきます。以上となります。

◆市民 ありがとうございます。

○司会 そのほかご質問、ご意見等は。今、マイクお持ちします。

◆市民 北栄町内会の■■■■といます。ごみの収集関係で、ちょっとお願いみたいになっちゃいますけども、土曜日の日に道新にごみの戸別収集の記事が出ていました。個人的には私もやってほしいんですが、それはなかなか、読んで、難しいというのを納得をさせていただいたところなんです。それで、実際的に私の家の前で、市のほうから提供されている折り畳みのごみを設置しております。基本的にいいますと、かぶせる網がちっちゃいんですよ。もうちょっと大きくしないと、カラスの被害に結構遭っています、生ごみの日。ちょっとこれは変な話なんですけど、私のところと向かい側3軒が使用しているんですが、3軒とも共働きの家庭なものですから、高齢者の私どもの家で見張り役になっちゃうんですね。そのたびにごみの収集の方にも申し訳ないんで、新たに自分のところからごみの袋を持って行って、整理をしてということもあるんですよ。確かにおもしろみありますが、正直言って網が小さ過ぎます。全体的にもっと大きくかぶせて、カラスが出ないような、そんな対策が取れないかなって、ずっと常日頃思っていましたんで、この機会でもしできればと思います。

○司会 ごみ収集ステーションの網が小さい、何か改善策はないかというお話です。回答お願いします。

◎ゼロごみ推進課長補佐 まず、最初の戸別収集というお話もちよっとありましたので、まず戸別収集につきましては、市民の皆さんが安心して過ごせる、ふくしのまちづくりを目指す上では必要であるというふうに考えております。

ただしかし、近年の人手不足の問題ですとか、さらには世界的なコロナ禍ですとか、今はウクライナ情勢に伴う物価上昇や、あと原油高騰という、ちよっと今、先が見えない不透明な状況ということ踏まえまして、現在、市のほうでは全市拡大については一時凍結せざるを得ないという状況でございます。

しかしながら、将来的には全市拡大を目指す方針や、不適正排出の防止ですとか、ごみ出しの負担軽減などの効果があるため、現在まだ検討のほうを続けておりますので、少しお時間をいただきたいなと思ってございます。

次に、カラス対策のごみステーションという話だったんですが、恐らく今使われているのは折り畳みのアルミ式のサークルにネットをかぶせているものだと思います。実は近年、ここ去年、今年ぐらいから、市のほうとしても、今そのステーションに、今日すみません、写真持ってきていないんですが、新たな、ちよっと緑色の全体が網になってる蓋付の中身ごみ見えるステーションというのを今ちよっと変更して、市内全域に少し更新をかけてございます。これ何かといいま

すと、ちょっと一昨年ほどそのステーションが風で飛んでしまって事故が起きたということがありますので、実はそういった事故の被害ですとか、特に今日来ている地区でいいますと、ウトナイ地区が実は風が非常に強いということもありまして、そこを中心にだとか、そういったところからまず全市的に交換しているところもありますので、今日いただいたご意見を基に、順次交換のほうをさせていただきたいと思っておりますので、後でもし場所等教えていただければ、ちょっと後でお話しさせていただきたいと思えます。以上です。

◆市民 戸別収集については、新聞記事を読んでいますので、十分理解はしております。やれということではなくて、それに伴って、さっき言いましたステーションの話なんで、待っています。

○司会 そのほか、どなたかいらっしゃいますか。今、マイクをお持ちします。

◆市民 ウトナイ町内会の■■■■と申します。先ほどウトナイ町内会、去年だったんですけども、鹿が出没したということでお話があったんですけども、それ以上に、熊の出没というのは聞いていないとは思んですけども、近年、列車の乗務員さんのほうから、熊の出没というのは毎年出ているんです。これは大体、区間としては美々からウトナイ湖、あの辺に毎年出没情報が出ています。その辺のJRさんからの情報が入ってきているのかどうか。もし入ってきていなければ、その辺がJRさんのほうに確認するというか、情報を流してもらおうという方法と、もしそれが入ってきたら市のほうでどのような対策を取られるのか、その2点、お聞きしたいんですけど。

○司会 JRですか。

◆市民 はい。

○司会 JRさんから熊の情報が入っているのか、入っていたとしたら、市としてどのような対応をするのかという質問です。回答をお願いします。

◎環境生活課副主幹 環境生活課の高坂です。熊の出没の関係なんですけども、JRさんのほうから熊の目撃情報というのは今のところは入ってきていない状況です。仮に、例えばですけど、JRとそれが衝突してしまったですとか、そういった情報であればもちろん把握できますし、ダイヤも乱れるということもありますので。あと、もし仮に熊が出没していたとなった場合、通報者、例えば警察ですとかそういったところに通報していただいた後、市の対応としましては、まず夜間帯であればちょっと我々も防除隊、猟友会の方と現地を見に行くというのは非常に危険な状況になりますので、翌朝ですとか明るい時間帯に我々も痕跡だとかをまず確認に伺います。その熊の足跡ですとか、ふんですとか、そういったものがあれば市のホームページですとか、あと注意看板というものも現地に設置をして、人と熊が接触しないような対策というのを講じているという状況でございます。

近年はちょっと熊の目撃というのは、苫小牧が特に多かったのが、今年は美沢地区のほうと樽前地区のほうで、錦岡のほうですね、ちょっと最近、熊の目撃というか熊の痕跡でふんが見つかったというようなことですとか、あと爪跡が見つかったですとか、そういった状況が苫小牧でもあるんですけども、人と熊が札幌のような形で、熊と人が接触したというような事案はまだ発生していない状況であります。ただ、いつやはり札幌のようなことが起きるか分かりませんので、

我々も人と熊が接触しないような形で、注意看板の設置ですとか、強い情報発信というのは引き続き努めてまいりたいというふうに考えています。以上です。

○司会 よろしいでしょうか。そのほか、ご質問ある方いらっしゃいますか。よろしいでしょうか。

それでは、意見交換終了となりますけど、よろしいでしょうか。それでは、これをもちまして意見交換終了させていただきます。最後に、まちかどミーティング終了に当たりまして、岩倉市長よりご挨拶申し上げます。

◎市長 6人の方からご質問、ご意見をいただきました。なかなか、昨日も北海道市長会、札幌でありまして、市長さんといろんな話をしている話題の中で、やっぱり全道的に鹿が増えているなというように感じてきました。市街地に鹿の群れも出て、新聞に出たこともありますし、もう五、六年前になりますね、うちは神社の下に住んでいるんですが、庭のオンコが全部やられました。それで、フェンスの上にネットを張って、入ってくるのを防ごうという、あの辺の北側の住宅地がそういう対策を、高丘も含めてするものですから、どんどんどんどん南に行くと、そういう意味では我々も責任あるなということを感じながら。夜なんか緑ヶ丘公園の近くに行くと、必ず鹿の群れに会います。何とかならないかなっていつも思うんですけども、もうやっぱり狼持ってくるしかないのかなというか、そんなできないことも考えちゃうぐらいに、鹿あるいはカラス、アライグマは最近話題が出ないんですけども、そして今年は熊の目撃情報等々ですね、市民の皆さんにご心配かけるようなことがあります、何かそういう事態があったらぜひ市のほうに声を届けていただければなというふうに思いますし、猟友会の皆さんも何かあったときに一生懸命対応していただいておりますので、ぜひ、安心をしてくださいとは言えませんが、何かあったら市のほうに声を届けていただければなというふうに思います。

それやこれやいろいろな課題も山積していますし、コロナが最近また少し増えて、全国的にですけれども、第八波の到来が少し早まるかなという気配もありますので、引き続き我々感染拡大防止、あるいは地域経済対策、そして市民の皆さんの健やかな日々、この3つの重点軸でコロナ対策に励んでいきたいなというふうに考えておりますので、市のそういう対応を、津波も含めて見守っていただきたいなというふうに思います。

今日が最後になります。いつも突然振って挨拶させているものですから、今、誰に振るのかみんなびくびくしているんですけども、皆勤賞って何人かいるんですよ。僕もそうですけれども、今日は担当室長、山田君から最後のご挨拶。

○司会 皆勤賞、仕事ですので皆勤賞ということではありますが、8月23日から始まりまして、今日が最後となりまして、少し寂しい感じがしております。始めた頃は、この高価なポロシャツ1枚でやっていたんですけども、今、秋が来て、冬になって、何かこう季節の変わり目をこの着こなしで変わってきたということを感じているところです。ちょっと何をお話ししていいか分かりませんが。

皆様からいただいた意見ですね、必ずしも全て反映できるものではないということをご理解いただきたいと思います。ただ、ここでいただいた意見というのは確実に反映している部分が

ありますので、今後もそういった意見を、市の行事に参加していただいて、ぜひ市にお寄せいただければと思っておりますので、市と市民と一体となってこの市をよくしていけるように、皆さんのご協力もよろしくお願ひしたいと思います。どうもありがとうございました。

○市長 どうもありがとうございました。

○司会 以上をもちまして、閉会いたします。お帰りになった際にはうがい、手洗いをして、感染症対策に努めてください。以上をもちまして終了いたします。ありがとうございました。